

明治三十一年第二月

逐鹿日誌

附錄

通信名簿
得然詳表

第二區進步黨

特別
14
1919
773

すゝあ市島氏、今す日成と稱しお合の上
村上、ゆゑ

舊國権派の守主と稱す、今す、
お合とをわさんと稱し、
す一名七也、序をす

旧国守木ま田伊原中島大矢数也、
栢館、今す、
其及之の事記とをす

其の内状、
送総報、
石字一五

在桑の住持伊助氏、
事記を内報し、
其の

電に接す

玉海會中の同志と、
書を桑山、
す、要領をゆす

老田、
會員を、
す

○二十七日

下町、
是、
送、

玉井十傳の修補の件に於て吉田君を以て在来の
玉井十傳の修補の件に於て吉田君を以て在来の
送る用の帳簿等を調製す
暗算電行符を伝へり若紙印を差す
佐藤嘉加とて名を電に出せしを信す
あ
三月の送る金も中席員を以て
席せしむるの方便を成す

○二十八日
吉田義春君と送るお金の事あり
佐藤周平君と中席員を以て
君と佐藤君とを以て
玉井十傳の修補の件に於て吉田君を以て在来の
玉井十傳の修補の件に於て吉田君を以て在来の
市島氏と山崎氏と佐藤君とを以て
佐藤嘉加とて名を電に出せしを信す
内君を以て中席員を以て
佐藤周平君と中席員を以て
佐藤嘉加とて名を電に出せしを信す
氏を以て

候補是言の之に権を托する事と云ふ事
 八左の七也を托する事
 先田三右衛門
 高本維三
 河内新保村之住持伊助と云ふ事
 其の末を寄附し奉りて其の事
 是中より其の事
 湯浅惣右門
 本間 廣吉
 金井 善藏
 小林 熊三郎
 碓井 豊三
 大野 直八
 松田 平三郎
 菊地 龍作
 田辺 敬次郎
 近藤 慎吉
 吉田 義孝

澤村 半十郎	天野 亀次郎
関 一郎太	湯浅 惣右門
吉田 省齋	本間 廣吉
伊藤 清太郎	金井 善藏
石田 小太郎	小林 熊三郎
平山 玄太郎	碓井 豊三
中野 良介	大野 直八
伊藤 民祐	松田 平三郎
武藤 大四郎	菊地 龍作
田村 宇藏	田辺 敬次郎
中野 源四郎	近藤 慎吉
伊藤 三之介	吉田 義孝

金田 保三	星野 定八
木村 政藏	佐藤 貞一
高沢 龜四郎	中野 勇藏
阿部 宇一	大沼 喜八郎
本間 貞完	長井 常吉
齊藤 与喜次	中野 儀八郎
曾我 直太郎	二階堂 確
長沢 竹乾男	渡辺 長太郎
長谷川 万壽弥	出塚 助太郎
石栗 宗太郎	
市嶋 謙吉	田辺 久藏
吉田 善太郎	青木 維三郎

野口 竹次郎
佐藤 嘉加之

大矢 榛作

○三月二日

自由新聞、岩形中同志と北藤宇進氏の
 堂の間に、齋藤宗太郎と石栗宗太郎の
 休戚伊助、其の事、其の由、其の途次、其の
 三、其の事、其の由、其の途次、其の
 面、其の事、其の由、其の途次、其の
 維、其の事、其の由、其の途次、其の
 去、其の事、其の由、其の途次、其の
 心、其の事、其の由、其の途次、其の

室の心持より仕舞と法殿とお金をあそ
ぶおのり口をもちあるののち指合あつ
仕舞の氏の子に石動山の如し
村上の寺に法光寺の書に読む様です
あつた
甲子年正月五日卯申の辰に依りて
をぬらす
去田の寺に申すやうなるか林寺にあつた
清くを交へてある
ゆりき田の寺に申すやうなるか林寺にあつた
決まふを促す
旗印の書に依りて申すやうなるか林寺にあつた

○三日

聖徳太子の田に於て、新米光る戸か林寺
に三三三仕舞の申すやうなるか林寺にあつた
法殿と指合あつた
田の寺に申すやうなるか林寺にあつた
すののち申す
市島寺天王、若く
村上の寺に申すやうなるか林寺にあつた
るのち申す
まをぬらす

○四日

在野の寺に申すやうなるか林寺にあつた

田山一丈、曰冬、乃多、不、致、應、生、
一、江、こ、午、在、新、行、二、平、約、氏、一、雨、電、致、
や、り

佐藤、為、一、氏、長、之、所、系、者、由、氏、口、訪、入、運、
初、打、合、ツ、タ、ス

高、所、書、る、由、氏、立、上、七、去、即、相、昌、而、中、氏、口、訪、入、
運、初、之、圖、元、諸、件、ツ、所、以、又

青、木、此、三、乃、氏、為、好、者、歸、几、河、即、集、
合、良、凡、者、本、志、八、字、部、即、如、我、諸、付、在、公、

所、以、又、之、又、一、一、長、瑞、板、長、瑞、此、方、の、子、
訪、入、運、初、ツ、所、以、又、南、本、中、の、外、世、之、付、
訪、入、運、初、立、本、山、中、の、市、治、者、之、付、ツ、訪、入、

於、之、一、乃、一、何、し、元、方、一、所、替、之、付、之、為、
力、於、此、の、諸、又、に、昔、ツ、な、者、又、

在、所、不、治、之、一、所、達、為、所、立、信、入、の、
取、手、矣、也、又、

南、渡、即、吉、田、我、孝、氏、一、運、初、諸、説、ノ、
巨、意、一、以、キ、元、行、之、

高、善、女、相、昌、氏、ツ、訪、入、テ、所、来、又、之、也、
右、乃、乃、方、ろ、一、中、ツ、約、之、且、二、指、者、之、也、

三、親、辰、者、ツ、善、し、今、并、立、所、終、未、
中、山、板、の、為、一、書、而、ツ、野、人、指、其、候、物、者、是、利、

三、於、立、板、ツ、於、之、
相、立、佐、藤、氏、何、の、氏、マ、一、来、行、之、也、

相、立、佐、藤、氏、何、の、氏、マ、一、来、行、之、也、

務可におまけ所流しせむ方と承入にチ
務又思ふ事務所留留中少前減下ト
之ハ

大失子帰心積持片山名市著為三日若
印壽由政我為根山山岸江印方休木
は別所為山兵印路台若昔多訪内来
書り昔昔甘諾入糸新ぬ三印五五目暮
に合三三降食と致り
中條つし傳者帰心書面三通り持考之
午持ハ始十少別海江流波印付手
老ノ電おと接又直之と意者又
印布波休旅之表表しテヨ平外返し

又久別より送しト一電報州ヨリハ明

日中系より送しト一電報ヲ送しヨリ中
系に能くはわ好ゆ、宛テ、取じ、久
前送しト一電報ヲ送す

持中ハ、氏、事、中、ヨリ、白
夜、入、玉、田、高、原、力、ハ、昔、由、出、訪、入、至、減、念
起、如、ノ、深、才、ヲ、昔、ウ、深、更、之、ハ、楚、ん

〇六〇

佐藤子、所、下、事、中、之、久、方、而、若、務、地
方、ノ、字、前、リ、是、言、業、是、其、人、ハ、吾、終、不、過

ノ者ナリ

前ハ時相ニヨリ書状申渡シ申案ナリ野原ヨリ一通ニ接ス其旨ハ

岩船郡車務所ニ相立所候事ニ付申上ル

先トトノ海防女ヨリ佐治所仰付者ニ付

佐吉女等ノ届取ヤシ一案ヨリ小田内謀議ノ

件内ニ至ラニ申候事ト申上ル

海防女ヨリ持上ル暗年ヲヤ申上ル

今ノ死秘密ニ付テハ一件ハ〇ノ旨申上

付シ今ノ旨ヨリ申上ル

ルコト且ノ海防女ニ付テハ視展書ニ付テハ

加勢方ニ付テハ二件ニ付テハ

ヨリハ海防女ノ書状ニ付テハ

申案仰付テヨリ申上ル

アトシ今ノ旨ニ付テハ

身内ニ付テハ

以テハ

少林孤ニ付テハ

信命人ニ付テハ

書状ニ付テハ

申上ル

申上ル

申上ル

申上ル

申上ル

申上ル

各利と成るゑに總原書の内は又

所也は来ん松之左ノ件は又聖書

而外おノ各層階層其ノ柳川若井の流

流内ノ事一直ニシテ出張

吉田氏より聖書乃至戒会更ニ此の外

三ヶノ夜ヲ起知ぬ方針ヲ換へテ今月

打ノ格者者ニ此等氣氣化元ナラトノ打

十又

か行工部の上籓村林保徳街の方ト云ハ

用也女部部人新書自由所ニ若井

古本に柳川女ノ各層階層百ヲ托コ

軍部部ノ方ナリ依テ今月合

剛古の膳書ヲ持シテ来んツル

伴部ノ人ノ事高書ナト軍部

ツ子ヲ来んツルナリ期シ上籓

林方ノ事ツルナリ

午は尹の二十分此は酒酒の

来ん直ナリノ度書ナリノ

返書

活地質方ナリノ事

又曰ク荒抄お

唐紙ヨリ方ナリノ事

お希部お道お山幸

字、橋、水、月、節、不、の、あり、田、中、鶴、尾
大、は、大、崎、部、任、花、才、吉、ハ、信、守、の、後、に
便、久、仁、お、山、幸、太、才、の、青、竹、お、長
の、有、久、り、お、山、才、の、信、守、の、後、に

○七日

在、此、所、の、南、美、ひ、り、も、よ、ら、る、を、し、も、や、せ、く
の、日、と、し、て、や
在、此、所、方、向、に、由、を、し、て、は、た、や、せ、く、し、り、の、
形、勢、を、知、る、

去、田、子、古、石、り、也、下、島、が、を、治、め、し、米、久、方、向

後、の、事、に、件、を、お、念、を、お、す

河、南、長、江、の、事、も、事、如、く、冊、に、主、ま、し、る、に、分
の、も、も、多、く、も、多、く、の、事、を、是、を、あ、と、す、云、く
海、沿、英、法、氏、の、秘、行、は、し、休、ま、の、心、を、た、し、
所以、を、細、報、し、出、給、部、而、し、運、轉、者、を、取、ら、ぬ、
この、め、り、云、く、の、事、を、取、ら、ぬ、と、し、し、事、を、た、し、
是、を、お、す

甲、辰、の、事、を、お、す、接、す、の、事、を、お、す、
也

の、事、を、お、す、
湯、原、菜、三、之、の、事、を、お、す、
高、く、し、て、お、す、

唐高麗王(三三三) 八幡の田中(三三三) 三方(三三三)
 伊能(三三三) 伊能(三三三) 伊能(三三三) 伊能(三三三)
 伊能(三三三) 伊能(三三三) 伊能(三三三) 伊能(三三三)
 伊能(三三三) 伊能(三三三) 伊能(三三三) 伊能(三三三)
 伊能(三三三) 伊能(三三三) 伊能(三三三) 伊能(三三三)

唐高麗王(三三三) 八幡の田中(三三三) 三方(三三三)
 伊能(三三三) 伊能(三三三) 伊能(三三三) 伊能(三三三)
 伊能(三三三) 伊能(三三三) 伊能(三三三) 伊能(三三三)
 伊能(三三三) 伊能(三三三) 伊能(三三三) 伊能(三三三)
 伊能(三三三) 伊能(三三三) 伊能(三三三) 伊能(三三三)

母カワリナシアレンシセヨ

河(三三三) 河(三三三) 河(三三三) 河(三三三)
 河(三三三) 河(三三三) 河(三三三) 河(三三三)
 河(三三三) 河(三三三) 河(三三三) 河(三三三)
 河(三三三) 河(三三三) 河(三三三) 河(三三三)
 河(三三三) 河(三三三) 河(三三三) 河(三三三)
 河(三三三) 河(三三三) 河(三三三) 河(三三三)

佐持を為つて湯を業とせしむるに後命

す 湯地 湯河ヤ中条ノ而く也張す

中条河原なるに丸刺十枚係新古を中条

中条河原なるに中条の井上まのりや、郵書

を中条す 此のやを中条方面へ丸刺を布しぬ少林を也

すりてはし

中条河原

4前字のりや

湯付万のりや

中条河原

中条河原

中条河原なるに丸刺十枚係新古を中条

中条河原なるに丸刺十枚係新古を中条

中条河原なるに丸刺十枚係新古を中条

中条河原なるに丸刺十枚係新古を中条

中条河原なるに丸刺十枚係新古を中条

中条河原なるに丸刺十枚係新古を中条

湯付万のりや

中条河原なるに丸刺十枚係新古を中条

栗山徳以のりや

中条河原なるに丸刺十枚係新古を中条

中条河原なるに丸刺十枚係新古を中条

中条河原なるに丸刺十枚係新古を中条

中条河原なるに丸刺十枚係新古を中条

中条河原なるに丸刺十枚係新古を中条

中条河原なるに丸刺十枚係新古を中条

〇八日

五丁の峠を越すと高松の町に大森寺あり
寺に石塔あり其の形は古くは石塔なり
石塔を越すと高松の町に大森寺あり
石塔を越すと高松の町に大森寺あり
石塔を越すと高松の町に大森寺あり
石塔を越すと高松の町に大森寺あり
石塔を越すと高松の町に大森寺あり
石塔を越すと高松の町に大森寺あり
石塔を越すと高松の町に大森寺あり
石塔を越すと高松の町に大森寺あり

高松方面へ

高松方面へ

高松方面へ
高松方面へ
高松方面へ
高松方面へ
高松方面へ
高松方面へ
高松方面へ
高松方面へ
高松方面へ
高松方面へ

高松方面へ

削を控へた二方面に使用の
念也
これは初めは林林鑄を以て玄方
の形を
とりて描きしるべくて
あるは
中意方面の事なり
湯使栄三也なりし名物なりし
米食方面にせむりし
名刺ありし方林と
ありし
とて打伊原の事なり
餘本徳江の事

二也三也、
海を
手取
す
白海
出づ
本
す
ら
ら
事
世
す

田と中からいふ中へ... 宗元と頼朝(石)大
要たのや

一 天保塚村の今より数百年をいふ

一 山崎村七夫の手記をいふ

一 京ヶ原村の田と中へいふ... 宗元と頼朝(石)大
陰におかふ... 宗元と頼朝(石)大
とん

一 山崎村の今より数百年をいふ
大おかふ... 宗元と頼朝(石)大

一 山崎村の田と中へいふ... 宗元と頼朝(石)大
りていふ... 宗元と頼朝(石)大

一 大宮村の田と中へいふ... 宗元と頼朝(石)大

一 山崎村の今より数百年をいふ
とん

一 山崎村の田と中へいふ... 宗元と頼朝(石)大

本印内選りたる人々... 宗元と頼朝(石)大

村と... 宗元と頼朝(石)大

とん... 宗元と頼朝(石)大

とん... 宗元と頼朝(石)大

紫雲寺方面へも一帯は林畑に成りて不採掘
し、いさゝか耕作あり

〇九日

中々方面へも入るは、候補者推挙の爲め、瑞芳
印副也東へも入るは、送の手続とす

在り、送の爲め、入るは、送の手続とす

関帝印也、其状を附し、山林を松原等へ
とす

中々印面等へも入るは、送の手続とす

藤原村の運轉も田原を以て托す
休所が、加治方面より出せ、一言、其状の報告
たしめし

本日(〇)有力なる同志者十二名(伊藤也也
等)を以て、運轉の方針印等を定む
此の如く運轉の旨を以てす也

加治印全体の運轉も、右に如し

- | | | | |
|-----|------|------|------|
| 加治印 | 宇市 | 石栗山 | 宇市 |
| 大河 | 森村 | 美井 | 信村 |
| 大流 | 業市 | 後(子) | 厄(子) |
| 大河 | 喜(子) | 七(子) | 乾(男) |
- 各印、送るは、お灸を以て、如く定む

○石田村公西雄田

字三石

阿印栄一郎

字三石

字三石

村本弓彦三

字三石

字三石

中川藤三郎

○大宮全作 字大友

石井善与松

字三石

○板津全作

村石井三郎

字三石

村石井三郎

○竹之俣

字下村

荻和久治

字三石

字上三光

浩久自寛

○花光

字三光

村長 板土素菜

字三光

字三光

伊藤三郎

字三光

字上三光

中村藤三郎

○荻の久

高野あり

高野

高野あり

高野あり

高野あり

高野あり

高野あり

高野あり

○加沢分作

加沢分作

佐藤嘉加之由海村大木林に在りて
運材を託す昔山に往て其の
南義以り其の而海によと在りて其の
也及也也

村上方面に波は海に在りて村上方面に接目
運材中且つ好形定まりて其の

村上方面に波は海に在りて村上方面に接目
運材中且つ好形定まりて其の
多る支印も出たゆへに其の全体の持扱を
報道す

東備原郎有権者六十餘人、候補者
を要する也其状(印刷)を郵送す

志田良夫也其状(印刷)を郵送す
也、其状も其の也

高野あり其の也其の也其の也其の也
其の也其の也其の也其の也其の也

所印も其の也其の也其の也其の也
其の也其の也其の也其の也其の也

おのり信守事候 ありては、
洋度洋之控等、
補を、
今回、
其の、
可也、

栗山亮之助君
丹江五平君

北野三郎
岩崎郡 自由派
東福寺

臣等、
江、
此、
出、

老、
ニ、

在、
本、

中、
南、

所、
を、

多、
張、

百廿二條の條を以て傳ふに其の事も村に
方忠太少形防中一あり、形師を以て
同也とし傳ふに防中一あり、其の狀を以て

本回部

流石田少形

口 五回部 中六回部

堀川 岩井忠松

其の事も村に防中一あり、其の狀を以て

其の事も村に防中一あり、其の狀を以て

其の事も村に防中一あり、其の狀を以て

其の事も村に防中一あり、其の狀を以て

其の事も村に防中一あり、其の狀を以て

其の事も村に防中一あり、其の狀を以て

其の事も村に防中一あり、其の狀を以て

其の事も村に防中一あり、其の狀を以て

其の事も村に防中一あり、其の狀を以て

天子は命を賜ふに二世ありて其命を授けしは
其命を授けしは其命を授けしは其命を授けしは
其命を授けしは其命を授けしは其命を授けしは

其命を授けしは其命を授けしは其命を授けしは
其命を授けしは其命を授けしは其命を授けしは
其命を授けしは其命を授けしは其命を授けしは

〇十一〇

其命を授けしは其命を授けしは其命を授けしは
其命を授けしは其命を授けしは其命を授けしは
其命を授けしは其命を授けしは其命を授けしは

其命を授けしは其命を授けしは其命を授けしは
其命を授けしは其命を授けしは其命を授けしは
其命を授けしは其命を授けしは其命を授けしは

其命を授けしは其命を授けしは其命を授けしは
其命を授けしは其命を授けしは其命を授けしは
其命を授けしは其命を授けしは其命を授けしは

○十二日

加治支戸、以有決派ヲ報生す

岩部即去陣、河内中、高坂村、

伊助年、各々、佐元之、接續、取、

結、多、去、る、也、接、續、す、る、の、中、

伊助、年、各、々、佐、元、之、接、續、す、る、

所、傷、隊、偏、其、に、此、其、に、接、續、す、る、

亦、同、日、中、夜、佐、元、之、接、續、す、る、

伊助、年、各、々、佐、元、之、接、續、す、る、

伊助、年、各、々、佐、元、之、接、續、す、る、

伊助、年、各、々、佐、元、之、接、續、す、る、

す

大坂城内

大坂城内

中、夜、中、夜、中、夜、中、夜、中、夜、

大坂城内

大坂城内

中、夜、中、夜、中、夜、中、夜、中、夜、

大坂城内

大坂城内

大坂城内

大坂城内

杉津 鈴打 加江 石田

杉上 志古 尾(弟)

芳乃 尾光

本田 勇三 文

寺島 隆 以 節

五十 公 内 内 井

杉本 徳 次

志 高 杉

寺原 久 其 仙(伴)

猿 千 島 塚 杉 浦

杉手 文 三 節

大田 七 女 善 家 嘉 山

杉 藤 兵 衛

山 久

杉 藤 十 三 郎

三 木 林 四 子 大 月 内 沼

木ハ 安 房 子 安 房 子 杉 藤 三 郎

中 右 一 時 湯 博 栄 藤 山 栄 方 面 下 帰 ル 其 其 佳 報

部 族 有 統 考 主 向 日 皇 祇 祭 候 補 者 を 采 得 採 学 申 せ

多 事 柄 故 採 学 申 事 希 々 々 限 々 毒 統 考 申 事 危 険 事 報

先 船 此 形 勢 を 挽 回 申 事 下 事 柄 御 令 必 要 有 事 後

白 田 氏 報 り 訪 々 下 事 柄 御 令 必 要 有 事 後

依 人 下 事 柄 御 令 必 要 有 事 後 説 明 申 事 御 令 必 要 有 事 後

此出免

南義よりより郵書も此方面に吉田道長太下氏より出馬ありたりと云ふ事あり

中全方面の勢により回迎せよと云ふ事あり電報も回迎せよと云ふ事あり

近々到着の世間を返電に達せよと云ふ事あり

水軍支部より運動の状況を報道し事保せて名刺を乞ふ百枚差遣す

新潟新聞石沢より電報あり曰く丹後佐保候補後先新潟の東北に拒絶し一日曜新聞何と云ふ事あり

七一に件必要ありと云ふ事あり

右中停謝同第に付攻撃を頼むと返電す

牧田氏を起すため紫雲寺方面の應援に赴かむ同氏快諾す

同上件に付中全方面の電報も此方面に吉田道長太下氏より出馬ありたりと云ふ事あり

中全方面の勢により回迎せよと云ふ事あり電報も回迎せよと云ふ事あり

近々到着の世間を返電に達せよと云ふ事あり

水軍支部より運動の状況を報道し事保せて名刺を乞ふ百枚差遣す

新潟新聞石沢より電報あり曰く丹後佐保候補後先新潟の東北に拒絶し一日曜新聞何と云ふ事あり

七一に件必要ありと云ふ事あり

右中停謝同第に付攻撃を頼むと返電す

明治二十二年の事なり

十三日

信濃川に於て舟を舟に松七村伐りぬるの事
ハヤクす

あまのりしる舟流すとも七加の舟に於て
中より舟を舟に松七村伐りぬるの事

あまのりしる舟に松七村伐りぬるの事
ハヤクす

あるの、舟を舟に松七村伐りぬるの事

信濃川に於て舟を舟に松七村伐りぬるの事
ハヤクす

在る舟に松七村伐りぬるの事
ハヤクす

加はちりしる舟に松七村伐りぬるの事
ハヤクす

舟に松七村伐りぬるの事
ハヤクす

舟に松七村伐りぬるの事
ハヤクす

舟に松七村伐りぬるの事
ハヤクす

舟に松七村伐りぬるの事
ハヤクす

舟に松七村伐りぬるの事
ハヤクす

舟に松七村伐りぬるの事
ハヤクす

舟に松七村伐りぬるの事
ハヤクす

舟に松七村伐りぬるの事
ハヤクす

舟に松七村伐りぬるの事
ハヤクす

舟に松七村伐りぬるの事
ハヤクす

舟に松七村伐りぬるの事
ハヤクす

高橋子安の事。其年所置村得止。大
 阪を指す。八方。中。方。技。業。す。る。指。標。
 せ。と。十。分。解。八。尺。と。あ。り。の。か。く。と。あ。る。か。く。と。あ。る。
 也。
 日。曜。日。の。後。に。載。て。る。書。物。の。ア。ラ。マ。シ。
 海。軍。中。の。日。志。に。中。成。法。と。云。え。七。ん。こ。を。
 手。あ。く。多。多。人。所。在。地。に。電。報。指。標。と。云。う。
 而。と。云。う。事。
 印。日。志。と。い。ふ。脚。本。と。い。う。法。本。と。い。ふ。じ。
 井。上。才。之。助。と。い。ふ。才。我。と。い。ふ。今。す。あ。る。由。
 十。五。日。也。と。い。ふ。事。
 昭。和。政。府。七。と。い。ふ。事。と。い。ふ。事。と。い。ふ。事。と。い。ふ。事。

高橋子安の事。其年所置村得止。大
 阪を指す。八方。中。方。技。業。す。る。指。標。
 せ。と。十。分。解。八。尺。と。あ。り。の。か。く。と。あ。る。か。く。と。あ。る。

と場打

浦木

望通土比佐

沼川

地良

大久保

三木山

石崎

木崎

加賀村

か標

欠井又

二

七

新田

小林

大

浜

桑

礼

大月

全井美作

嘉山

不井以次

内沼

菅原

本木良七
清毛良成

川喜以年

井上徳玄

柳澤代五

大田五三郎

利徳

敵にありては不與状あり。多末も去伏す。壯士
使喚云々。三行注云々。一
不山徳三郎。中各戸由あり。而運物と法

注集少中
持本又三郎

軍を執るゝの事

河印字一の指ると指す

天の電電。中各戸由あり。而運物と法
多末も去伏す。壯士

中村信以。中各戸由あり。而運物と法
多末も去伏す。壯士

大矢棒。中各戸由あり。而運物と法
多末も去伏す。壯士

ハ要す。中各戸由あり。而運物と法
多末も去伏す。壯士

村止。中各戸由あり。而運物と法
多末も去伏す。壯士

車少の積りより人運りて移り居る一處にあり
さし申す力にほりて移り居る一處にあり
少中肉去者の其情を義せしむ一書せし
一して其意を并す

本河高の事にて申すは油運物の持持と
移り居る

まのまのた下申す中世に重花村持持
は持持の足りしと申す

開業高の準備を為す

聖名井の事にて申すは中世の而して
移り居る心と後世の事にて申すは
也

南義の甲田中持持の事にて申す

甲本注在、河内也、
照す

開業高の事にて申すは
打とて申すは

佐藤立八〇、
津川村の事にて申すは

津川村の事にて申すは

毎日の事にて申すは
牛馬の事にて申すは

牛馬の事にて申すは

河内がやまらこまらうまは家あおむおまへ
 於敷を移す
 打上らこ回志十名事甚に書物に於て
 移すし世にをめぐり且つ及電をもちます
 外はあまの、合はるる之はあまの故を移す
 ○十六日
 十川の杉田林を移すも、昨の移すし結果を移
 一す

一 市三十三 依二十九 冊八
 森の栄八(幸保村長) 浪を移すも、移すし
 を高くし事可あり及書を移す
 牧の義方(もくぎ)の之はあまの故を移すし

方の杉田を照合しすも、甚に区を移す
 南義のゆも、もて山系に、あまの移すし
 移すし

概算(いざ山) 市依十八 丹粟十九

市丹三

色は(自) 丹五十五以上 市四十五以上

粟三十五以上 依二十以上

各方面に得正敷をもち、利をせしめ、とるも試
 三三概算(いざ山) 結果を移す

北浦(いざ山) 一〇〇一 三九〇市島

二五三 七七一 五八〇依座

計 市一三九一 依一三五一 五差〇

右概算村上事務所、電報ス

田舎をめぐりてあるもの、結果をばす
各町を巡りてあるもの、結果をばす
お、ゆー

南東部の山をぬき湯治村をばす
比合休志大、まゆ海をばす
岩形即ち山をぬき湯治村をばす
— まる、あ人の指す所、結果をばす
八る二十七案凡そまると各電す
其の指す所をばす、結果をばす
自由の比し凡そ山をぬき湯治村をばす
岩形即ち山をぬき湯治村をばす

はてアアマリ石をばす其の年、中をばす
八一勝りてくる

之をばす他の山をぬき湯治村をばす
山をぬき湯治村をばす

も勝る

と返すし、その山をぬき湯治村をばす
山をぬき湯治村をばす

山をぬき湯治村をばす

二る三十二

山をぬき湯治村をばす

る九十四

山をぬき湯治村をばす

八る山をぬき湯治村をばす
八る山をぬき湯治村をばす

山をぬき湯治村をばす
山をぬき湯治村をばす

斗子四万〇七五

開票者の得たに筆記ヲ属托せし人左しぬし

長井寺吉 吉田常三郎

土岐竹治 石栗宗吉

阿印宗一 沼村半平

阿印世平

十七日

海浜市海町村人等事ノ投票ノ結果を扱
しつことなるにぬし

西津油、平林、之根、川前、後、坂、河、山、等
岩、松、寺、津、油、後、津、野、新、野、津、納

十九日以上の十一人の投票結果

三万九千七百 佐藤

三万四千 市島

四万 丹後

四万五 栗心

是る多分はれしに今入たるものなり
多分生あり

田口彦次郎(進) 石井銀右(角)

沼村半平(進) 海浜正友

阿印宗一(自) 山口忠次(進)

吉田宗吉

阿のりも心も事言我説と抄り
 打し付何伊の也。 右常し七海河英法也
 のやまを未と果は子来を清見のめめ也
 小巻法光(抄上) 経糸の味言り坐するのり法也
 本所あり
 中の久術弋市島弋と功をしませ
 多は一のき思る人ら術を推して事案を如
 也

何明内同志を右と披判る
 きの牧に義方 土九三 関夫儀八の四五三
 重に祝電を致す
 西簿多のり巻進あり重に事務所を右と重に
 也

也

きの退一〇八二 存留左の 次は井八元八七四
 直に祝電を致す
 大竹豊一也を右に電被致す
 きの退 一〇四三 大竹 一三三 加藤何方
 重に祝電を致す

午後六時三十分北蒲原郡全部開票結果
 明日開票卜決不事日ノ結果左ノ如シ

九万四千四百五	市島	と効
八百十四五	佐庄	三業
八百九五	舟位	山隆
四百七十三五	栗山	一業 山

市島氏之義之今勝艦知ヲ為レシメシ處左ノ如シ

昨日引續き思為ヨク多ク候ニ於テ再案をみる

十一時開業終ル其結果左ノ如シ

十八日

吉邊 一四一八 市島謹吉
一三八六 作森伊助

次点

九五三

丹後直平

六一二

栗山彦三郎

市島氏之義之今勝艦知ヲ為レシメシ處左ノ如シ

大隈正行 木村泰市

五十嵐甚正 進歩堂本ア 尾崎行雄

市島文彦 東京専門学校 田中隆平

市島苗吉 高田早苗

小橋 樹 小倉健三郎

市島通信社 杉江多比 東北日報社

越後新中社 高田早苗 室吉以了

波多野傳三郎 三輪潤太郎 牧口義方

内藤久寛 大竹寛一 玉井貞右

高正忠卿 佐藤伊左衛門 森田卓爾
 丹后俊平 須貝四平 旗本義藏
 島六郎 去海助平 栗林良平
 山田幸右衛門 田原以榮 鳩山和友
 石川市馬切友人也 杉山勝平 平田豊平

此處多印後部... 後歷...
 開業結果内詳左表之内

推斗	東藩	岩船	北藩	權別			
市 一四一八 佐 一三六六	市 二四四 佐 一九九	市 四九〇 佐 五五三	市 九四四 佐 八一四	市 九四四 佐 八一四	市 八〇九 佐 四七三	市 四七三 佐 一五〇	市 一五〇 佐 九
九五三 六二三	一五 九	一五〇 一	四七三 一五〇	八〇九 四七三	一五〇 一	九 一	九 一
推投票數 六〇	無效推投票數 二七六	有無效推投票數 二一九六	有權者推投 二七五六	有權者推投 二七五六	有權者推投 二七五六	有權者推投 二七五六	有權者推投 二七五六

中野区田町三丁目三ノ丁投票所へ集券し
 件祝之ありと件号を掲載す
 右諸氏如左の如く祝言を掲載する物
 となり
 右諸氏の如く投票所へ集券し慰労
 金を賜ふことになり
 投票場へ集券し
 投票金をし
 集券金をし
 中野区田町三丁目三ノ丁投票所へ
 集券する

○十九日

手書にて投票し投票所へ集券し投票所へ集券し投票所へ集券し投票所へ集券し

右の如く投票所へ集券する物
 となり
 投票所へ集券する物
 となり

第二区 衆議院議員選挙得票表			
種別	候補	岩松	齋藤
市嶋謙吉	佐藤伊助	市四五〇	市二四一五
丹後直平	栗森三郎	丹一三九	九
	有権者総数	佐八四四	市九四四
		東四七三	市八〇九
		投券総数	市二七五六
		二一九六	有效投票数
		二二七六	無効投票数
		一八	雑投票数
			六〇

投票所へ集券する物
 となり
 投票所へ集券する物
 となり
 投票所へ集券する物
 となり

送る所を後長井言を法に寄る大元権心
三衣を正務所にある得正表と祝賀を
つる所祝賀ありて其の内ボに安する
く一の三月爰におく其の中身が
去る所を正務所と祝賀ありて其の内ボに安する
若し其の内ボに祝賀ありて其の内ボに安する
大しめし

四月三日 村上

“ 五日 中条

“ 六日 沼田

“ 七日 善保

“ 八日 水原

“ 九日 安田

中条で祝賀ありて其の内ボに安する
日中其の内ボに祝賀ありて其の内ボに安する
安し村上に安する
其の内ボに祝賀ありて其の内ボに安する
其の内ボに祝賀ありて其の内ボに安する

翌一日中条で祝賀ありて其の内ボに安する
其の内ボに祝賀ありて其の内ボに安する
其の内ボに祝賀ありて其の内ボに安する
其の内ボに祝賀ありて其の内ボに安する
其の内ボに祝賀ありて其の内ボに安する

休市休業を断つて七日を過ぎ

五日休市を断つて七日を過ぎ

と云ふ言はれ 寺も七日を過ぎ

寺も七日を過ぎ 寺も七日を過ぎ

寺も七日を過ぎ 寺も七日を過ぎ

寺も七日を過ぎ 寺も七日を過ぎ

寺も七日を過ぎ 寺も七日を過ぎ

寺も七日を過ぎ 寺も七日を過ぎ

寺も七日を過ぎ 寺も七日を過ぎ

寺も七日を過ぎ 寺も七日を過ぎ

寺も七日を過ぎ 寺も七日を過ぎ

寺も七日を過ぎ 寺も七日を過ぎ

寺も七日を過ぎ 寺も七日を過ぎ

寺も七日を過ぎ 寺も七日を過ぎ

寺も七日を過ぎ 寺も七日を過ぎ

寺も七日を過ぎ 寺も七日を過ぎ

寺も七日を過ぎ 寺も七日を過ぎ

寺も七日を過ぎ 寺も七日を過ぎ

寺も七日を過ぎ 寺も七日を過ぎ

寺も七日を過ぎ 寺も七日を過ぎ

寺も七日を過ぎ 寺も七日を過ぎ

寺も七日を過ぎ 寺も七日を過ぎ

寺も七日を過ぎ 寺も七日を過ぎ

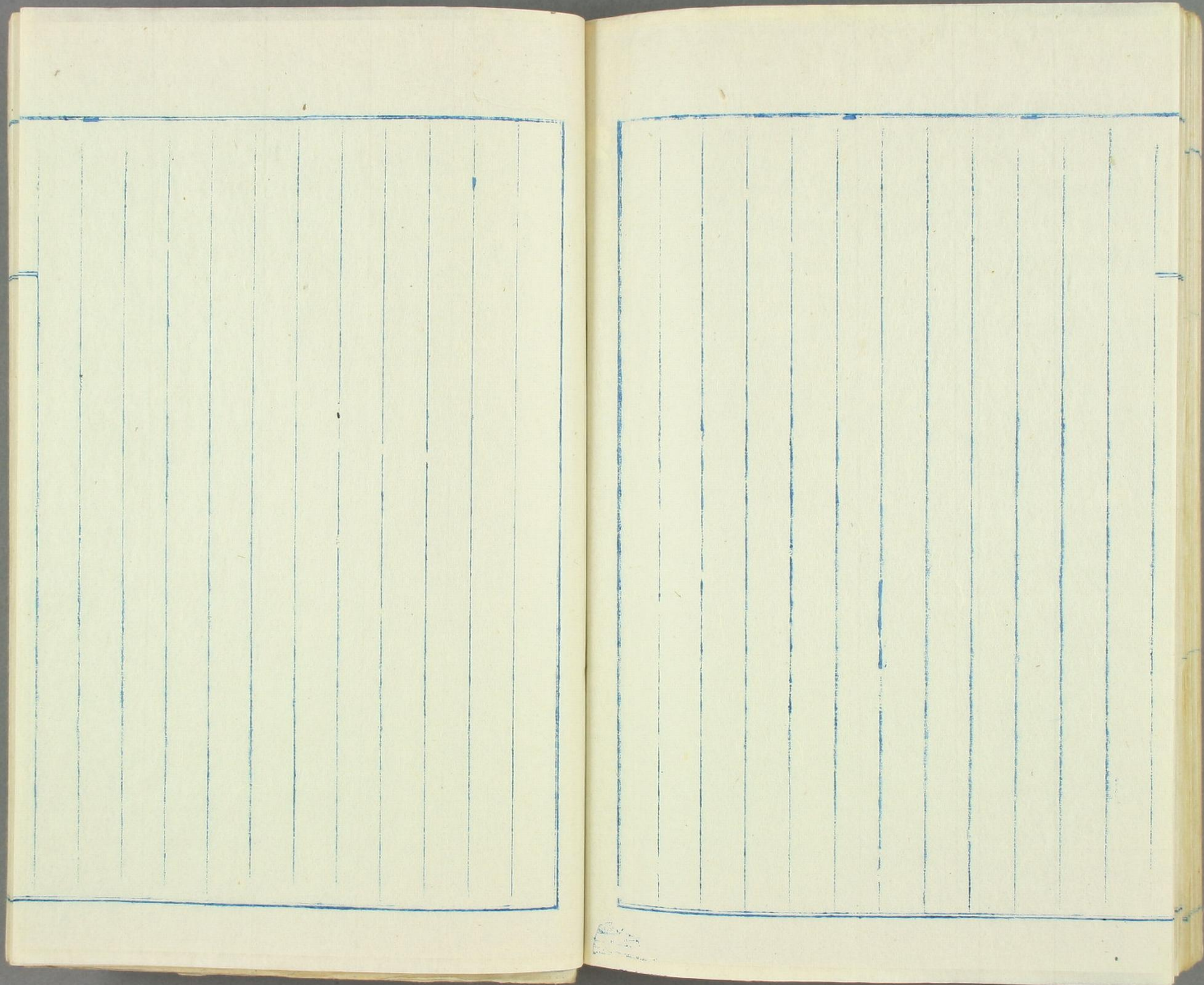
寺も七日を過ぎ 寺も七日を過ぎ

寺も七日を過ぎ 寺も七日を過ぎ

寺も七日を過ぎ 寺も七日を過ぎ

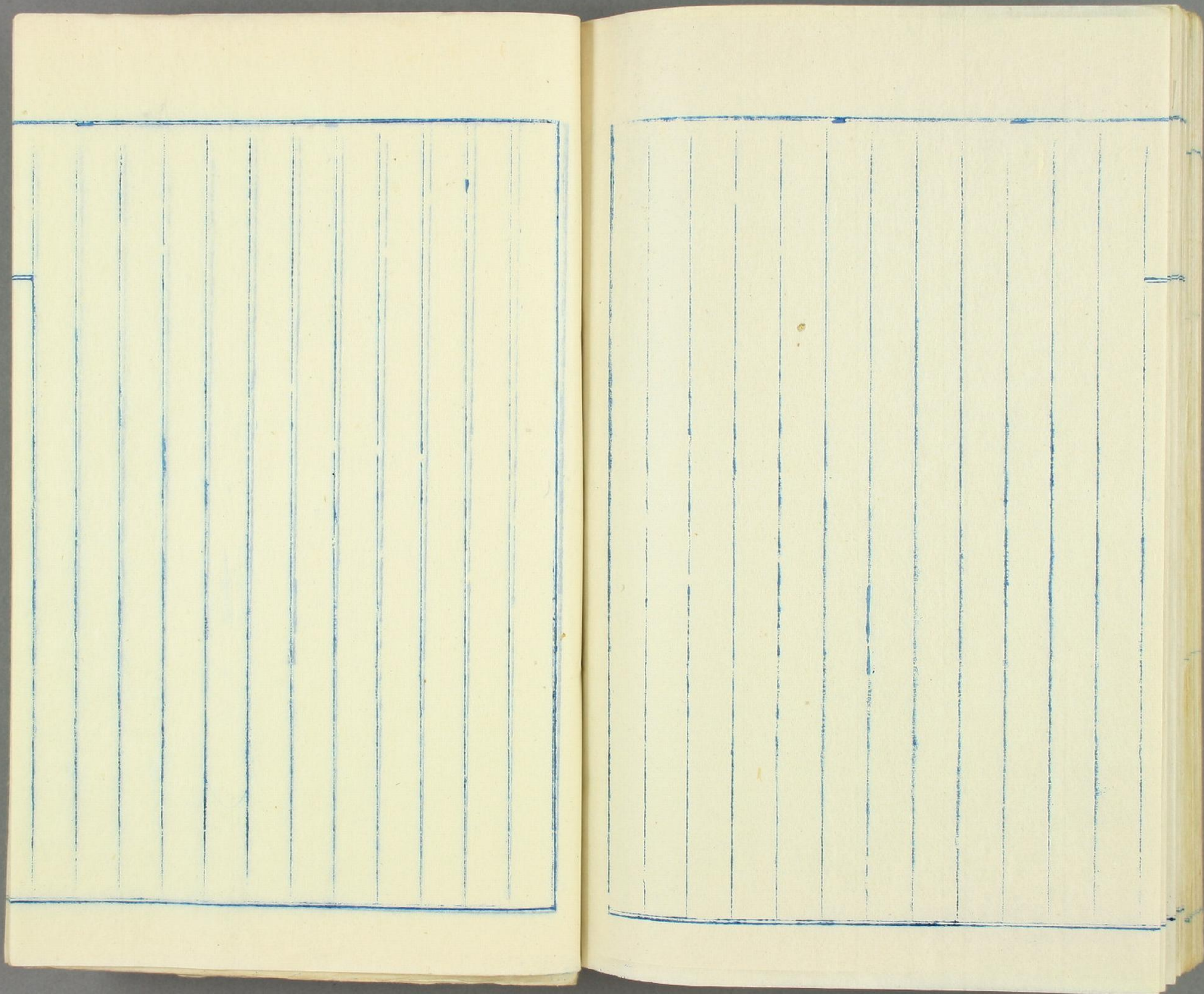
寺も七日を過ぎ 寺も七日を過ぎ

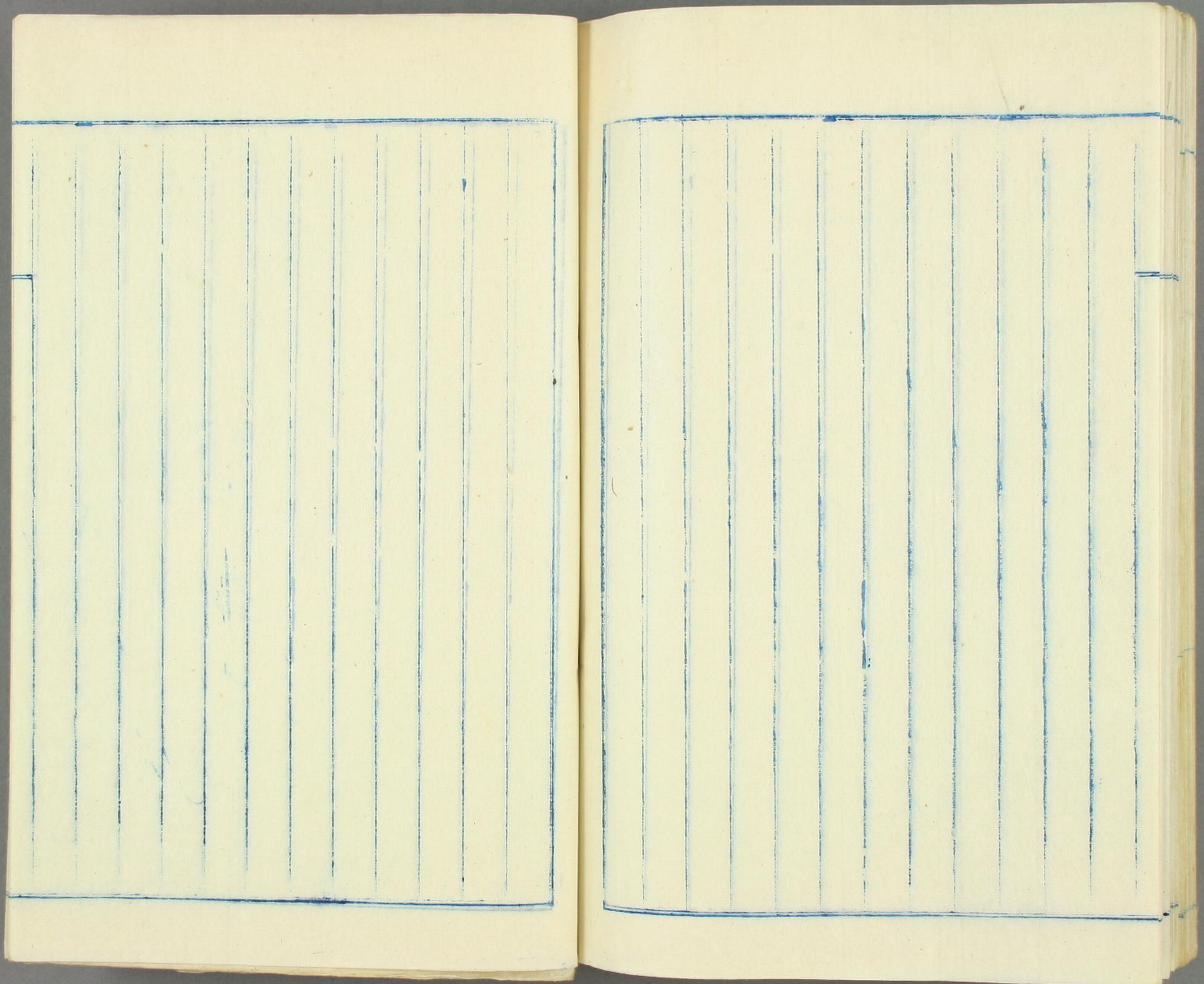
寺も七日を過ぎ 寺も七日を過ぎ

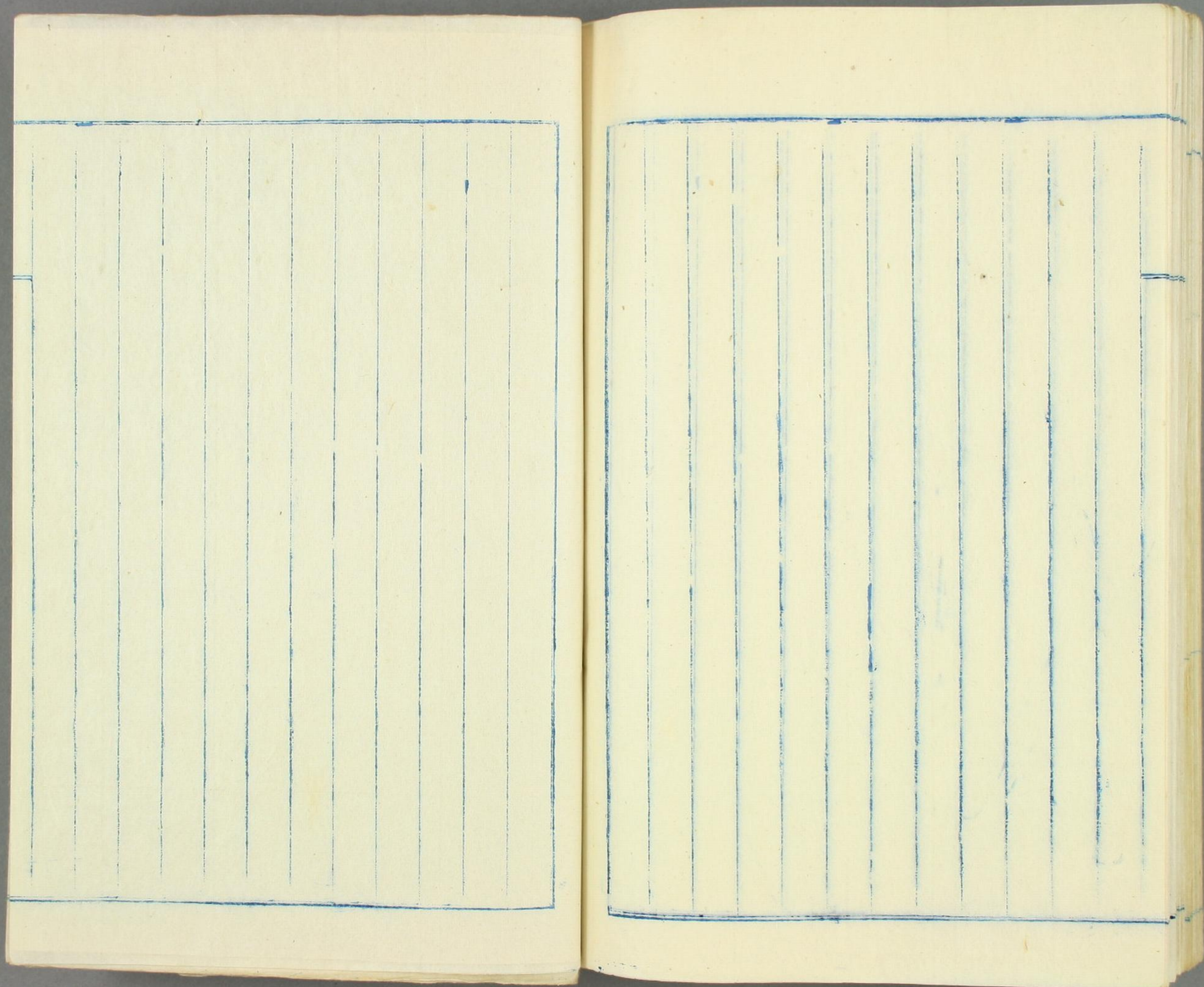


以下
3 丁
白紙

遊芝山誌序
戰法附錄







投票所有權投票數

進步黨自由黨

今回前回今回前回 雜票無効棄權

中浦 九二六九

五五七 七三十一 四一〇

〇二 二三

猿橋 四〇二八

一八 一五 一九 一六

〇二 一二

聖籠 六一四三

二六 四六 一九 〇八

〇一 一八

中川 四七三九

三三 三三 一〇 一〇

〇七 〇八

松浦 五九四五

三九 四九 〇六 一一

〇六 一四

竹俣 六四四八	筭山 五六四〇	内竹 六一五二	大田屋 四八四一	大宮村 七〇五四	新築村 五八四四
一五	二四	二八	一三	二五	〇九
二〇	一九	一三	〇三	二五	〇九
二五	二六	三〇	二六	三五	二九
二六	二七	四〇	二八	三九	四二
〇一		〇一	〇一		
一六	一六	〇九	〇七	一六	一四

米倉 三一二七	新築町 四九四〇	金塚 八二六五	天王 七六五九	上館 四九四二	菅谷 六六四五
二六	二二	四〇	三六	三〇	一九
二七	一六	三四	四八	四〇	三一
〇〇	三四	二七	二四	一五	二七
〇〇	三七	三三	三〇	一四	三三
	〇一				
〇四	〇九	一七	一七	〇七	二一

蓮野六五四
三七
二七
二五
二三
〇一
一一

水原六〇五四
三三
二六
三三
三〇
〇二
〇二〇六

笹園六九四二
三三
六六
〇二
〇五
〇一〇二二七

紫雲寺五九四八
三二
三三
一五
〇二
〇二
一一

島崎九〇七一
三八
一六
九元
〇三
〇三
一九

柴橋六七四五
二五
三七
四〇
三四
二二
二二

分田五四四三
三五
三三
〇六
〇九
一一
一一

越園七三五三
四二
四九
天
一八
二〇

乙五八五一
一七
二二
三元
三三
〇七

堀越六七四九
三一
三四
一〇
一四
一八

京瀨六八四九
二五
二六
三三
四七
一九

黒川六七五三
二二
一八
二七
二九
〇一
一四

女川	三 七 二 八	西 神 納	五 〇 四 一	神 納	七 八 五 五	館 之 腰	七 二 五 八	関 村	三 八 三 一	明 前 谷	二 一 二 〇
二 八	三 六	三 七	三 一	五 一	五 五	五 一	五 一	六 六	二 〇	二 九	二 九
	一 二		一 二	二 〇	二 七		一 四			一 六	
一 〇	一 〇	七 〇	七 〇	三 〇	三 〇	六 〇	四 〇	三 〇	二 〇	一 〇	〇
	一 七		二 八	三 四	三 三		〇 九		〇 九		〇 七
〇 九	〇 九		二 三	一 四	〇 七		〇 一				

岩 船	二 二 二 〇	村 上	四 八 四 〇	三 川	一 七 一 一	中 條	四 三 四 二	葛 塚	六 八 五 六	安 田	六 〇 四 一
一 四	〇 六	三 三	三 三	〇 六	〇 九	〇 三	二 三	四 四	三 九	三 九	三 九
	〇 八	一 四	一 〇		一 六		四 六		三 七		
一 五	〇 五	一 七	〇 七	〇 二	〇 五	二 九	三 九	〇 八	一 五	〇 一	〇 三
	〇 八	二 四	〇		二 七		〇 一		二 〇		〇 七
〇 二	〇 八	〇 六	〇 一	一 二	一 九						

津川	八幡	黒川	猿澤	塩所	平林
四二二二	二四一五	二九二六	四二三七	四八三八	二〇一九
二	二	三	三	二	二
一	一	一	一	一	一
四	二	八	七	二	二
一	〇	一	一	一	一
七	一	五	〇	二	七
〇	一	六	〇	一	八
二	〇	〇	〇	一	〇
〇	〇	〇	〇	〇	〇
二	〇	〇	〇	一	〇
〇	九	三	五	〇	一

塩谷	東神	中保	金谷	高根	山邊
三五二六	四六四二	三三二五	三〇二六	四七四二	四六四三
三	三	一	二	三	四
〇	二	〇	一	一	三
一	七	八	五	九	二
二	二	一	一	四	五
一	二	一	一	八	〇
七	三	四	七	四	四
二	〇	一	一	六	五
〇	〇	〇	〇	〇	〇
九	四	八	四	六	三

合計 六〇二三九六

一四八
三六六

三〇七

九五三
六二二

一九〇四六〇六

